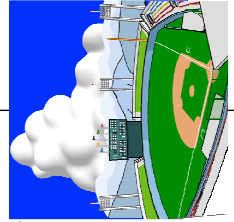


※ 解答は、《解答らん》に書きましょう。

「しょうかい文を書こう」という学習に取り組んでいる黒木さんは、次の資料を読んだあと、松山市にある坊っちゃんスタジアムを訪れ、しょうかい文を書きました。

【資料】 ※ 場面ごとに、1～4の番号を示しています。



1

今年も、夏の甲子園を目指す球児たちの熱い戦い、全国高校野球選手権愛媛大会が近づいてきました。三年生の野球部員にとっては、①高校野球のしめくくりとなる大会です。しかし、愛媛大会でベンチ入りできるのは二十人まで。大所帯の学校では、選手登録から外れ、観客席から声援を送る三年生が少なくありません。

2

大会直前、坊っちゃんスタジアムで、市内の高校どうしの試合がありました。坊っちゃんスタジアムは、愛媛大会の開会式や決勝戦が行われる球場です。毎年のように、プロ野球の試合も開かれます。県内ずいーといわれる球場で行われたこの試合は、ベンチ入りメンバーに選ばれなかった三年生のための、送別試合だったのです。

彼らは、それまでの試合で、出場機会にめぐまれないときも、一人一人が大きな声を出して、チームを盛り立てました。また、グラウンド整備をしたり、試合に備えて投球練習をするピッチャーのボールを受けたりと、裏方の仕事にも②汗を流しました。

3

試合は、二対〇の接戦となりました。好ゲームを後押ししたのは、スタンドにかけつけた、それぞれの学校のサッカー部員やバスケットボール部員でした。いつせいに体をゆらしたり、歌を歌ったりして、野球部員を応援しました。どの競技にも、登録選手数に限りがあります。運動部員どうし、登録外となった者の気持ちはよく分かります。

試合に出場したある選手は、「みんなが声をかけてくれたおかげでヒットが打てた。」と喜びました。

4

野球への情熱や仲間への思いは、どの部員も同じです。

「今日でチームが本当に一つになれた。ベンチに入れなかった選手の分までしっかりと試合をして、一試合でも多く勝ちたい。」これまでたくさんの部員をまとめてきたキャプテンの言葉です。三年生にとって、最後の夏がいよいよ始まるうとしています。



【しょうかい文】

ぼくがしょうかいするのは、松山市の坊っちゃんスタジアムにある「の・ボールミュージアム」です。ここには、アメリカで活やくするイチロー選手のグローブなど、プロ野球のことが分かるコーナー、高校野球をはじめ、アマチュア野球のことが分かるコーナー、ボールを投げたり、反射神経を測ったりすることが出来る体験コーナーなどがあって、野球の歴史や野球選手に必要な能力について学びます。

ここで、ぼくが初めて知ったことがあります。

それは、「野球」という言葉を作ったのが正岡子規だといわれていることです。子規が左打ちだったことも初めて知りました。



正岡子規の像 ↑

アメリカでは、野球のことを「ベースボール」といいます。「ベース」は日本語では「塁」、ボールは「球」となるので、二つの漢字を組み合わせると「塁球」になります。子規は、どうして「野球」を「塁球」にしなかったのでしょうか。

そのわけは、子規の子どもころの名前に関係があるのかもしれません。子規は「升」と書いて「のぼる」と呼ばれていました。「のぼる」の「の」を「野」に、「ぼる」を「ボール」として「球」に置きかえると「野球」になります。子規は、大人になってから、文章を書くときなどに使う別名として、たまに「のボール」を使っていたそうです。

野球好きのぼくは、「の・ボールミュージアム」に行ってから、子規をますます身近に感じるようになりました。

一 【資料】の——線部①「高校野球のしめくくりとなる大会」と同じ意味で使われている言葉を、4の部分から四字でぬき出して書きましよう。

二 【資料】の——線部②「汗を流す」は、「いっしょうけんめい働く」ことを表す慣用句です。次の文では、「見ていてはらはらする」ことを表す慣用句を使います。——線部の（ ）に当てはまる言葉を書いて、慣用句を完成させましよう。

決勝戦は、（ ）に汗を（ ）熱戦だった。

三 あなたが友達にしょうかいしたいことを、次の条件に合わせて書きましよう。

＜条件＞

○ 人物、場所、出来事などから、しょうかいしたい題材を一つ選び、題とすること。

例 正岡子規、の・ボールミュージアム、夏の甲子園 など

○ しょうかいしたい理由を、六十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。

1

[illegible]

11

() 比を ()

111

喂... <

>

つもつからつた理由

↓ 1111から書き出す11と。また、行を変えずに書く11と。

[illegible]

シート 21 正答例

- 一 最後の夏
- 二 (手)に汗を(にきる)
- 三

(例1)

題 正岡子規

明治時代に、「野球」という言葉を作ったといわれている人物が、俳句で有名な正岡子規だということをしろうかいしたりからです。(60字)

(例2)

題 の・ボールミュージアム

坊っちゃんスタジアムによく行っている人でも、球場の中にある「の・ボールミュージアム」に入ったことがある人は少ないと思うから。(62字)

(例3)

題 夏の甲子園

今年の夏、初めて甲子園球場に行き、地元の高校の応援をした。広い観客席から見る試合の様子は、テレビで見るのとはまったくちがっていたので、ぜひ伝えたいと思った。(78字)